



新聞まさひこ通信

あけぼの曙

発行責任者
福岡県議会議員
新開昌彦
福岡市早良区曙 2-1-35

Vol.28 平成 17 年 1 月 2 日発行

新開県議が代表質問

福岡県議会定例会が、12月1日開会されました。

新開昌彦県議は公明党の代表質問に立ちました。

まず、知的障害者施設「カリタスの家」での障害者虐待に対する県行政の対応と苦情処理体制の不備や県の産業廃棄物処理行政に対する甘い姿勢などを厳しく追及しました。

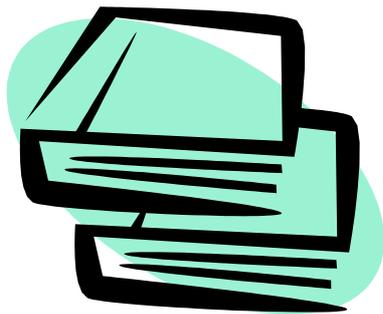
また、安心して安全な街をつくるためには横断的な取り組みが必要として「安全なまちづくり条例」の制定や県税の徴税に費用対効果に優れた茨城県方式の債権管理機構の設置を提案しました。

更に明年、九州国立博物館開設に伴い文化のアジアの拠点をめざすためにデジタルアーカイブを推進しアジアのセンター的機能を持つことを提案しました。

警察の問題では、今回の不正経理の調査を指揮した公安委員長の説明を本会議で求めましたが時間の関係で実現しませんでした。今後、公安委員長の議会出席について議会運営委員会で継続して審議することになりました。



議員提案条例が可決



12月21日「福岡県行政に係る基本的な計画を議会の議決事件として定める条例案」が可決しました。

知事の専権事項であった、いわゆる基本計画に議会の議決が必要になり議会での議論が活発になります。また議会の責任もより大きくなってきました。

新開県議は政調会長として他会派の政策責任者と共に精力的に議論を展開し骨子を作り上げました。

今年は酉年、年男です。

三位一体改革などで益々国から地方に権限が委譲されてきます。もっともって地方議員が勉強しなければなりません。今年は酉年、落ち着いて、現場第一主義を貫いて参ります。



新開昌彦県議活動レポート

10 月 19 日 茨城県租税債権管理機構



私と同僚の高橋雅成県議は、財政収入の確保について、市町村が共同で徴収業務を行うための一部事務組合を設立し、個人県民税の徴収にも効果をあげている茨城県を視察しました。

茨城県に平成 13 年に誕生した茨城租税債権管理機構の最大の特長は、費用対効果。平成 15 年度に機構の効果で約 37 億 7 千万円の税が徴収されている一方、機構の維持・運営などに要した費用はわずか 3 億 7 千万円であり、個人県民税分だけを見ても同年度の費用対効果は 3 億 2 千万円に上っており、また、機構の職員は徴税のプロとして育成され地元の市町村に戻るため人材育成にもつながっていました。

こうした機構を福岡県に設置すれば、個人県民税の収入未済額、不能欠損額の大幅な圧縮につながるのは確実です。



11 月 28 日 第 1 回室見川水系一斉清掃

室見川の水源から河口まで一斉に清掃活動が行われました。昨年環境大臣賞を受賞したりパーククリーン 21(那須野昭士代表)も、20 年来環境美化運動を継続、展開しこの一斉清掃の原動力になりました。私は、田隈校区(自治協議会 宮寄修一会長)で参加し皆さんと清掃活動をしました。当日は、37 団体 1300 人が参加しました。



12 月 17 日河川清掃やバザーで新潟中越地震救援募金を実施した那須野代表以下 6 人は、日本赤十字社福岡県支部に寄託しました。私も同行をし、応対に立った常盤洋一事務局長は、皆さんの真心を現地に必ずつたえて参ります。と丁寧なご挨拶をされました。

12 月 24 日 たんぼぼパトロール隊が第 3 回パトロール

たんぼぼパトロール隊(久田静夫代表)は、今回、西署から桑原生活安全管理官と西新交番から 2 名の警察官が同行し総勢 24 名が西新校区、高取校区を巡回しました。

警察からこの地域は、車上荒らし、自転車盗などが増加傾向にあると説明がありました。徐々に町に街灯が増え、駐車場に電灯を設置するなど自衛手段も多くなってきていました。久田代表は今後も継続していくと決意を語っていました。



嘉穂総合高校の建設場所が決定

森山教育長は、12 月 15 日文教常任委員会で 14 学区(嘉穂総合高校)の新設場所は桂川町のボタ山に決定したことを報告。総工費は 40 億円と判明。知事が常任委員会で決意を表明するなど異例の展開になった。公明党県議団・新開県議は、地元の意見を集約していない、費用、安全性から飯塚中央高校での設置の議論を展開したが残念な結果となりました。